

礼拝メッセージ（7月29日）

『信じる力』～あなたの信仰はどんな？～

【ヘブル 11:1～6】

自分の信念を人に伝えようとする自分以上に信念を持たなければ相手には伝わりません。イエス様に多くの弟子がついてきたのは「民を救う」という強い信念があったからです。そのイエス様の父（神）を信じる姿を通して現在も多くの人々が神様を信じているのではないのでしょうか。私たちクリスチャンが選ばれたのは私たちに与えられている賜物を通して多くの事を成す為です。私達が神様を信じて間もない頃は信仰を持って熱心に求めますが、その熱心な気持ちを持続させるのは難しい事です。イエス様の弟子たちはイエス様が十字架に架かれた時は逃げましたが後半は強い信念（信仰）を持って生き抜く事ができました。信仰を持つと言うことはその心がどのようなものが大切なのです。Ⅰ. アベルはカインよりもすぐれたいけにえを捧げ神に喜ばれました。Ⅱ. エノクは神に信頼した故に死をみませんでした。Ⅲ. ノアは信仰を持って船をつくり、生き延びてまず最初に神の為に祭壇を作り礼拝を捧げました。Ⅳ. アブラハムは約束の地に出で行けという召しを受けた時、行き先もわからず信仰によって出て行きました。Ⅴ. ヤコブは死ぬ寸前にも最後の力を振り絞って神を礼拝しました。Ⅵ. ヨセフは臨終の時、神は必ず約束された地へ上らせて下さると信じ、自分の遺体をも指図しました。（創 50:24,25）彼らは皆、信じた事を最後まで信じぬきました。私たちはここが弱いのです。ここに挙げた人々は信仰を与えられたのではなく、自らで信仰を得ていきました。私達も自ら信仰を得て行く為に**①混じりけのない信仰を持つ**。（ルカ 17:5～10）信仰を持続させるのはあなた次第です。小さな信仰が一つでも心があれば大きく成長する事ができます。信じている人は自信を持って前進できます。しかし疑いのある信仰は自信がないので自分から前に進む事はできません。それは信仰がないのと同じです。イエス様を大切に思う混じりけのない信仰がからし種ほどでもあればそれでいいのです。**②サタンのおるいに注意**。（ルカ 22:31～34）サタンは色々な方法で神様から私達を遠ざけようとします。シモンもそうでした。イエス様を裏切った後、シモンは漁師に戻っていましたが、しかしイエス様はシモンの信仰がなくならないように予め祈っておられました。私達のためにも祈って下さっています。そして立ち直る事も約束されています。例えばあなたの信仰が1%になってしまっても混じりけのない信仰を持っていれば必ず立ち直る事ができます。ですから混じりけのない信仰を持ち、サタンのおるいに注意する事が大切なのです。**③信仰に生きる**。（ローマ 1:17）どんな事をするにも信仰によって行って下さい。ローマ 8:23 に有名な御言葉がありますが、物事が益となるには「神を愛すること」「計画によって従うこと」が大切なのです。この2つが出来ていなければ、あなたの行うことは益とはなりません。聖書は初めから終わりまで心を語っています。人はうわべを見ますが神は心を見られます。この世の中で信仰を持って歩む事がどれほど大切か知って欲しいと神様は願っておられます。